

うめナビ

2018.9
Vol.78

子どもたちから企業まで デジタルクリエイティブで 明日の笑顔を作りたい

スペースクリエイションズ

平成28年に創業したスペースクリエイションズ（川崎市麻生区上麻生、佐藤誠史郎社長、044・455・6981、<https://www.space-creations.com/>）は、商業施設を中心に自社ブランドのイベントコンテンツの企画・運営を手がけている。

同社は、佐藤社長が元商業施設運営、野口取締役がグラフィックデザイナーという異色のコンビで、商業施設をもっと色々な形で活用したいという想いから事業をスタートさせている。

ターゲットさせた。現在は、子どもたちが笑顔になれる場所を提供すべく、デジタルテーマパークを開催している。中でも、エアドームを利用したドーム型VRアトラクション「ドームプラネット」は1年間で5万人の動員を達成するなど、人気コンテンツとして成長。「地球」をテーマとしたテーマパークの期間限定運営や、子ども向けの撮影会などを中心に事業展開している。

今後、商業施設のさらなる活用方法として検討しているサービスの一つが、「ポップアッププッシュアップ支援サービス」である。商業施設のイベントスペースは、中小企業が賃貸するには金銭面でのハードルが高いのが現状だ。そこを同社のノウハウを用いて、安価に利用できるように支援を行うことで、プロモーションとして活用しやすくなる取組みである。



そのほか、提供サービスの成果報酬型オリジナルネットショップ制作やYouTube動画を活用したYouTubeプロモーション支援などを組み合わせ、安価で効果的な販売支援の提供を考えている。子どもたちだけでなく、個人事業主や中小企業なども含めて、同社のモットーである「明日の笑顔を作る」を実践していく。



そのほか、提供サービスの成果報酬型オリジナルネットショップ制作やYouTube動画を活用したYouTubeプロモーション支援などを組み合わせ、安価で効果的な販売支援の提供を考えている。子どもたちだけでなく、個人事業主や中小企業なども含めて、同社のモットーである「明日の笑顔を作る」を実践していく。

横浜レストランウエディングのリーダー的存在！ レストランでおいしいお食事とともに 一味違う忘新年会を楽しめるプランも

HANZOYA

株式会社ドリームカムトゥルー企画が運営するフランス料理HANZOYA（横浜市港北区新横浜、加藤英二社長、045・471・8989、<http://www.hanzoia.co.jp/restaurant/>）は、平成3年新横浜に開業した。平成4年にはお客様のご要望でレストランウエディングを行い、横浜レストランウエディングの先駆的存在となった。

ウエディングのゲストにも「おいしいね」と喜んでいただけよう、素材にもこだわった「レストランの料理」と「アットホームなおもてなし」を大切に、本格的なカテドラルチャペルや披露宴会場を本社ビル内に備え、横浜の結婚式会場では知らない人はいない。

その同店が、パーティー会場としてフランスの古城を思わせるアンティークな造りの「迎賓館」、お城の中庭をイメージした「ガーデン」を開放して一般宴会を手がけていることは案外知られていない。通常のご宴会でも「レストランの料理」と「アットホームなおもてなし」を貫き、着席のコース料理、立食のビュッフェスタイルなどお客様のご要望に合わせたプランをご提案し、近隣

法人様にご利用いただき好評を博している。

今年の忘年会、来年の新年会は、ぜひいつもとは一味違う「レストランの料理」と「お洒落なパーティー会場」で、同僚やご友人の皆様と大切なひとときをお楽しみください。



横浜レストランウエディングシーンを華やかにリードする



通常のご宴会でも、同店自慢のおいしい料理とおもてなしを楽しんで！

うめナビ 送付先業種												合計 279先
	商社 8先	スーパー・小売・百貨店 30先	メーカー 15先	マスコミ・出版 32先	教育(大学・専門学校) 33先	官公庁 36先	ホテル 9先	金融 51先	建設・不動産 14先	システム関連 9先	その他 42先	

※本誌は、城南信用金庫のお取引先に配布する他、商社、百貨店、スーパー、メーカー、マスコミ、大学等にもお届けしています。

「相続登記」忘れていませんか？

NPO法人神奈川空家管理組合が ワンストップサービスでお力に

NPO法人
神奈川空家管理組合

誰しも経験する「相続」について、どれくらい前から準備しているだろうか？

人口減少、少子高齢化社会の加速に従い、空家増加のスピードも留まることを知らない。相続が発生して初めて、親・親族が所有している不動産問題に直面したり、所有者が認知症などを発症して管理処分が儘ならなくなったり、身内だからと勝手に事を進めて後々トラブルに発展したり…こんなご時世だからこそ、早め早めの準備が肝要である。

では、何をしたらいいのか、誰に相談したらいいのか。



同団体が開催する相続セミナー

相続が発生すると、不動産の名義変更には司法書士、賃貸や売却となれば宅地建物取引士、もし採りてしまったら弁護士、その他銀行や保険会社などへの連絡や訪問、手続などが多々押し寄せる。

NPO法人神奈川空家管理組合（藤沢市湘南台、金谷真喜代表理事、0120・37・0083、<http://www.npo-akya.jp>）の番号はそんなとき！

- ① 空家・空地の管理
- ② 終活を含めた相続全般の相談
- ③ 不動産の有効活用・売却等の相談、実務

不動産に強い各方面の専門家が在籍しているので、相続にまつわる不動産の手続きをワンストップサービスで行うことが可能なのだ。「相続」と一言で言っても、ご家族の数だけ形は異なる。まずはお気軽に、フリーダイヤル0120・37（ミナ）・0083（オオヤサン）までお電話ください。ご要望に沿った最適な相続ができるよう心を尽くしてお手伝いします。

安心して
ご相談ください！



【所属の専門家】

宅地建物取引士、公認不動産コンサルティングマスター相続対策専門士、相続アドバイザー、司法書士、土地家屋調査士、古物商、一般ファイナンシャル・プランニング技能士、二級建築士、一級造園士、産業廃棄物収集運搬業者、解体工事業者登録業者、他多数

地域の皆様に育まれて53年

「成城の四季をお菓子に託して」 併設のアトリエから作りたてのおいしさを

成城アルプス

昭和40年、成城アルプス（世田谷区成城、太田秀樹社長、03・3482・2807）は緑深く閑静な成城の地に誕生した。シェフパティシエである太田秀樹社長は、日本菓子協会公認技術指導員・東京都洋菓子協会技術指導員を務めており、全国の洋菓子店にケーキ作りを指導する立場にある。

地域とともに、皆様に育まれて53年。時代は変わっても、創業当時から守り続けてきたのは、お菓子の命は「鮮度」と考え、あくまでも店舗に併設されたアトリエ（工場）でお菓子作りを行うこと。これは、作りたてのおいしさをお届けし、「皆様に喜んでいただけるお菓子作りをしたい」という創業者の志を受け継いだ同店のこだわりである。

店舗に併設されたサロンでは、お好みのお菓子とお茶はもちろん、サンドウィッチやフレッシュジュースなどもご用意している。木を基調としたシックなインテリアの店内で、厳選された素材と熟練のパティシエにより

生み出されるおいしさを楽しまながら、ゆったりとおくつろぎいただきたい。創業時に東郷青児氏に依頼



同店を代表するスイーツのひとつ、「アンフィクレ」。フランス産の上質なチョコレートをふんだんに使用したムースショコラに、香り高いタヒチ産バニラを添えている



多くの映画関係者や文化人に愛されてきた成城の地で半世紀、今日も皆様に喜んでいただけるお菓子作りを追求している



し制作された作品や、太田パティシエによるピエスモンテ（飴細工）も展示しているので、ティータイムにぜひ。これからも、同店は伝統を大切にしながら、新しい時代の薫りを織り込み、皆様により喜んでいただけるお菓子作りをめざしていく。

キャラクター業界の最前線で

アニメへの愛と情熱 あふれるコラボグッズ

arma bianca

arma bianca（杉並区和田、坂井智成代表取締役、03・5913・8420、<https://armabianca.com>）は、平成27年に創業し、キャラクターやアニメのデジタルコンテンツに関連する企画や運営を行っている。「キャラクター業界の最前線に立ち、新しい時代を開き続ける」をモットーに、業歴3年で大きく飛躍し続けている。

坂井社長が生粋のアニメファンであることはもちろん、従業員も全員熱烈的なアニメファンが揃う同社は、「コードギアス」、「進撃の巨人」、「ハイキュー!!」など、現代の大人気アニメから、「ドラゴンボール」、「幽☆遊☆白書」、「名探偵コナン」といった歴代の名作アニメまで幅広く商材として採り入れ、さまざまなコラボグッズを生み出している。取扱グッズは、アクリルキーホルダーやTシャツ、トートバッグなどの定番商品から、スマホケース、マグカップ、スリッ

パなど日常的に使用できる生活雑貨まで多岐にわたる。「これからは地酒とのコラボ商品をつくりたい」と、社長の展望は広がる。また、同社が運営する通販サイト「AMNIBUS（アムニバス）」では、100作以上のアニメ関連商品を販売しており、品切れのものも少なくないほどアニメファンに愛好されている通販サイトの一つとなっている。Amazonや楽天市場、ヨドバシドットコムなど大手通販サイトでも同社のコラボグッズが販売され、同社商品を目にする場面はかなり多い。

現代のアニメブームの中で、アニメやキャラクターのコラボグッズ普及により、アニメファンだけでなくアニメに興味のない人もアニメの世界を身近に感じることができ、アニメ業界の新時代へ！同社はさらなる飛躍をめざす。



同社のさまざまなコラボグッズで、アニメの世界観がより身近に

「一番になれるニッチ市場で勝負！」 女性向けカメラ商品で国内トップ 目黒から世界進出を夢見て

アドリーブ

アドリーブ（目黒区祐天寺、中村一子社長、03・3713・4414、<http://www.adrive.com>）は「女性が楽しく写真を撮りたくなるグッズ」をコンセプトにしたオリジナルブランド「mi-na（ミーナ）」を展開、女性用のカメラ用品を企画・販売している。

平成20年にスタートした同ブランドは折からのカメラ女子ブームで急成長を遂げ、カメラの大好きなスタッフが自分でも使いたくなるような商品だけを開発してきた。主力商品はカメラストラップ、カメラケース、カメラバッグなど多岐にわたる。ブランドスタート当初から、「売れるものを作る」のではなく「mi-na」というブランドとしてのコンセプトや大手メーカーとの差別化を明確にしてきた。この10年間で開発した商品は400種類を超え、女性用カメラ用品のブランドとしての国内での認知度



女性が楽しく写真を撮りたくなる、オリジナルブランド「mi-na」の商品

はかなり高い。平成27年からは工房を新設してサンプル生産のスピードアップを図り、新商品開発の丁寧さとスピードが強みとなっている。

平成25年からは、カメラ業界のトップメーカーキャノンとの取引が始まった。現在は中国のキャノンとも取引を行い、人口減少などで厳しい状況が続く国内のみならず、今後はEU諸国への輸出も進めていく予定だ。「女性向けカメラ用品という市場は決して大きな市場ではないが、世界でオンラインの商品を作れば必ずニーズはあると信じて今後も努力していきたい」と社長は熱く語る。



ショールームで、じっくりご覧ください！

新設した工房

日本中をもっと鮮やかに デジタルサイネージの すべてをワンストップで提供

ブリーズビジョン

角田俊介社長



さらに、自前の大型ビジョンで自社管理を行っており、全国の主要都市に自社メディア媒体を持っている点も同社の強みである。お客様が大型ビジョンでの広告配信を希望される場合には、全国の大規模LEDビジョンを介した広告媒体にて提案可能だという。

ブリーズビジョン（目黒区南、角田俊介社長、0120・918・796、<https://www.breeze-vision.com>）は、ハード全般のLEDビジョンやディスプレイモニター、スタンドサイネージ、ソフト配信サービスなどを手がけるデジタルサイネージ総合サービス運営している。

2020年の東京オリンピックを控えていっそう市場規模の拡大が期待される業態だけに、成長が楽しみなベンチャー企業だ。今後も、デジタルサイネージが持つ可能性を限りなく追求し、コンテンツ、サービス、ブランドを通してサイネージ業界をリードしていくだろう。

創業から8年間の営業実績と、全国に700社以上の多数の取引実績を持ち、首都圏を中心に全国でサービス展開をしている。

培った経験・ノウハウをさらに進化させ、より付加価値を高めたサービスや、ハード・ソフト・広告の3本柱で独自の「次世代のサイネージムーブメント」を提供し続けている。

また、デジタルサイネージの販売だけではなく、配信のシステム・ソフト・コンテンツ制作などもすべてオールインワンの提案が可能であり、製品のリース契約や割賦契約、レンタルサービスを提供できるのも魅力



国内では珍しい透過型LEDディスプレイの取扱い

初等教育からSTEMと英語教育を徹底 「世界を変革できるイノベーター」 人に寄り添い、未来を切り拓く教育

ローラスインターナショナル
スクールオブサイエンス



未来を切り拓く一つの選択として、アントレプレナー教育も計画中です。ビジネスマインドの基本は、他者が抱える問題を解決したいという思いやりの気持ちだと思おうので、人に寄り添えるモラルや価値観の醸成にも力を入れています」と校長はビジョンを語る。

授業はすべて英語だが、土曜日は日本語で各教科授業を行うほか、日本独自の文化や習慣も指導する。今は中学課程（中等部）、高校課程（高等部）をつくる計画が進行中だ。

「全寮制にすれば海外からの留学生も受け入れられるでしょう。国や自治体が数年かける改革に1日で着手できる機動力を、これからは最大限に発揮していきます」とさらなる展開をめざしている。

ローラス・インターナショナルスクール・オブ・サイエンス（港区白金台、日置麻実校長、03・5422・7390、<http://www.laurus-school.com/>）は、STEM（Science, Technology, Engineering and Mathematics : 科学、技術、工学、数学）と英語教育を2本柱に据えたインターナショナルスクールだ。育成する人材像として、「世界を変革できるイノベーター」を掲げている。

日本にあるユニークなスタートアップスクールとして、中国やロシアから視察団が来校し、スカイプを通じてドバイやオーストラリアのスクールと授業を共有するなど国際交流が盛んだ。児童の保護者は、次世代型の教育を模索する医師や大学教授、起業家（アントレプレナー）が多いという。

「STEMとアントレプレナーシップの思想は大変親和性があり、



積極的な国際交流を通して、
科学、技術、工学、数学への
関心を育む

車のボディをガラスに変える 次世代の浸透型コーティング剤 「ペルシード」

ミラリード



「同社の開発した次世代コーティング剤「ペルシード」

ミラリード（品川区東品川、東山克基社長、03・5715・5523、<http://www.mirareed.co.jp>）は、カーウインドウフィルムをはじめとしたカー用品を製造する企業である。昭和54年の創業以来、時代に合わせた多種多様な商品を手がけてきた。

次世代コーティング剤「ペルシード」は、天然ガラス成分が車ボディのクリア層に半永久的に浸透定着してガラス化するもので、これまでのコーティング剤のように被膜が剥がれたり劣化する心配がない。従来の撥水型でなく親水型なので水だけで汚れが落ち、ボディの綺麗な状態が保てる画期的な商品である。

しかし、洗車用品分野に関して新規参入、他社と同じことをしていたのでは成功は見込めなかった。

そこで、販売店舗にテスターを設置することで徐々に認知度を高めていった。パッケージデザインも、効果効能を羅列する製品が多い中、シンプルで洗練された印象に仕上げ、差別化を図り、女性でも手の取りやすいデザインに。販売店スタッフにもサンプルを配布し、実際に効果を確かめてもらうことで商品説明の説得力UPを狙った。

平成27年より全国のカー用品店を中心に発売して以来、多くのユーザーに愛用されている。現在では、専用クロス・クリナー・水の要らないシャンプー・ヘッドライトのクリーナ&コーティングといった商品ラインナップを取揃えている。



ガラス化されたクリア層の透明感...いつまでも澄んだボディが鏡のような映りこみを魅せ続ける



水だけで汚れが落ちるので、洗車の回数と手間も減らせる



「ペルシード」の多様な商品ラインナップ

老若男女誰からも愛される！ やさしい味わいの本格中華と真心接客 池上駅前の中国料理店

菜香楼



駅前的好立地に、広々とした店内



平成8年のオープンから早20年を超え、中華料理の激戦地区である池上・蒲田エリアで、子どもからお年寄りまで多くのファンのお心をつかんで離さない繁盛店となっている中国料理店が、菜香楼（大田区池上、富澤小平代表、03・5700・3156【サイコロ】）である。

池上駅を出るとすぐに、堂々たる看板。点心のお土産コーナーがあるのも珍しい。家族へのお土産のほか、今夜の夕食の一品や池上本門寺へ参拝がてらの食べ歩きにもぴったりではないだろうか。
1階はテーブル席、2階・3階は円卓が広がり、最大180席まで対応可能で、一人で食事したいときも、大人数での宴会にもどんなシーンでも使うことができる。



水曜定休日、営業時間11時～22時。ご来店、お待ちしております！

あつさりした塩味ベースの広東料理を中心に四川料理を取り混ぜた200種類以上のメニューは、1,000円程度の手頃なセットも。特に人気がある海鮮おこげは、築地などから仕入れる新鮮な魚介類の出汁が効いて旨味たっぷり。また、具だくさんで食べ応えのあるエビ入り餃子は、ニンニク抜きなので女性も気にせず食べられるお勧めの一品である。ほんのり甘い中国パンの間に挟んで食べる豚の角煮も、口の中でとろけて絶品だ。中国料理からイメージする脂っこさ、辛さを抑えた癖のない味が、老若男女誰の口にも合う。

「池上の皆様に愛されてこまごま来ました。これからもお客様に美味しい中国料理を提供していきたい」とマスターは笑顔で語った。マスターや奥様のやさしい人柄と丁寧な気配りも、「また来たい！」と思わせる秘訣だろう。

大山街道の宿場町・荏田宿で 地域とともに3世紀半 17代継いできた老舗呉服店

現金屋



県内外から多くの祭り好きが来店



自家仕立てと中わたにもこだわるふとん



蔵から見つかった屏風絵

現金屋（横浜市青葉区荏田町、小泉弘社長、045・911・0008）は、東急田園都市線江田駅より約10分、国道246号を少し東に入った小さな商店街で、江戸時代中期から店を構えている。新しいお客様は「何で現金屋？」と不思議そうに尋ねて来られ、会話のよいきっかけになるとか。

荏田の地は、その昔、江戸から大山詣（現在の伊勢原市大山阿夫利神社）へ向かう最初の宿場町として、旅館をはじめ薬屋、餅屋、油屋、籠屋など35軒ほどが軒を連ね賑わっていた。その中の1軒、質古着業が同社である。「質屋の名残を留める『現金屋』の屋号を引き継いで17代目、先代の時代は品物がなく厳しいときが多々あったと思う」と社長は振り返る。宿通りの旧店舗脇にあった蔵から見つけた江戸時代の画家の作品も、真贋にかかわらず今も大事に保存しているという。
明治、大正、昭和と着物を商っていたものの、平成に入ってから呉服業も厳しくなり昨春秋には店舗を二分割修繕し、60余年扱ってきた学校制服関連はメーカーに譲渡して、今は奥様と、法人や地域の皆様からご依頼いただく名入れ商品や祭り用品、自家製手作りふとんなどを販売している。時代が変わっても、同社こだわりのふとんは量産品とは一味違い、使う方に合わせた仕立てわた入りふとんは、中身の分かる安心感とぬくもりが体を包んでくれるような心地よい眼りを提供している。
使い捨てが当然、売るだけのお店ばかりの昨今、「直したいときや困ったとき、やはり責任のあるお店で購入してよかったと感じてほしい」と老舗を守っている。